

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社 日本トリム 上場取引所 東
コード番号 6788 URL <https://www.nihon-trim.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田原 周夫
問合せ先責任者（役職名） 専務執行役員管理本部長（氏名） 大黒 康弘（TEL）06-6456-4600
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家様向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	12,406	9.2	1,563	△15.8	1,676	△14.0	1,106	△15.2
2025年3月期中間期	11,361	8.7	1,856	10.1	1,949	10.5	1,306	9.4

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,016百万円（△30.9％） 2025年3月期中間期 1,470百万円（6.1％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	145.46	—
2025年3月期中間期	170.40	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期中間期	34,926	24,720	66.4	3,085.29
2025年3月期	35,353	25,546	67.8	3,125.80

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 23,197百万円 2025年3月期 23,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	130.00	130.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	130.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	25,000	11.3	3,540	7.7	3,700	4.7	2,300	2.6	304.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	8,656,780株	2025年3月期	8,656,780株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,137,980株	2025年3月期	989,256株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	7,610,378株	2025年3月期中間期	7,664,985株

(注) 当社は、「株式給付信託 (J-ESOP)」及び「信託型従業員持株インセンティブ・プラン (E-Ship)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、“快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する”という企業理念のもと、健康・医療をメインテーマに事業を展開しております。電解水素水、電解水透析、再生医療関連等の事業を通じて、ひとびとのWell-beingに貢献することが我々の使命です。当社の電解水素水整水器は、「胃腸症状の改善」に効果が認められた管理医療機器であり、また、使用する浄水カートリッジは、近年、世界的な環境問題として注目を集めるPFAS（ピーファス：有機フッ素化合物の総称）を除去する性能(*1)も備えており、健康と共に安心して暮らせる環境づくりにも貢献しております。「社会は何時の時代も我々の製品を必要としている」をスローガンに、サステナブルな社会の実現に貢献し、当社グループの持続的な企業価値向上、株主価値向上を果たしてまいります。

(*1) JWPAS B（浄水器協会自主規格）に規定されている試験方法により浄水能力試験を実施。PFASのうち、特に有害性が高いとされるPFOS、PFOAについて、当社浄水カートリッジ全種で除去率80%以上を確認しております（JWPAS B 210試験結果）。

当中間連結会計期間における当社グループの売上高は12,406百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は1,563百万円（同15.8%減）、経常利益は1,676百万円（同14.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,106百万円（同15.2%減）となり、売上高は中間連結会計期間として過去最高を更新いたしました。営業利益、経常利益は、更なる業容拡大に向けた人的投資や、インドネシアのボトルドウォーター事業における広告費用増により前期を下回る結果となりました。親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、前述の費用増に加え、前期において投資有価証券売却益149百万円の特別利益があったことによります。

当社グループは、2028年3月期連結売上高310億円を目標とする中期経営計画を策定しております。整水器販売事業を柱に、ボトルドウォーター事業、電解水透析事業、再生医療分野の各事業も精力的に展開し、中期経営計画の達成並びに中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

[ウォーターヘルスケア事業]

整水器販売事業の売上高は5,038百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

直接販売部門では、主軸である職域販売部門（DS事業部）において、売上高が前年同期比8.3%増となりました。受注台数で月間過去最高を更新した本年6月の取付が進み、四半期（7月～9月）としての売上高も過去最高を更新いたしました。スポーツ分野、美容分野を軸とした販路開拓のほか、当期より注力している金融機関とのビジネスマッチングにおいても実績がスタートしております。また、営業力・販売力強化のための営業ツールの刷新にも着手しており、引き続き販売効率向上に取り組むとともに、人員増にも注力し、整水器販売事業をさらに拡大させてまいります。

間接販売である卸・OEM部門（MS事業部）では、売上高が前年同期比11.5%減となりました。第1四半期において発生した一部の既存代理店向け売上の鈍化は、代理店への地道な販売支援強化により徐々に上向いております。引き続き既存代理店の活性化とともに、新規大口代理店獲得、海外向け取引の拡大に注力してまいります。

ストックビジネスである国内カートリッジ販売は、売上高が3,069百万円（前年同期比4.1%増）と堅調に推移いたしました。引き続き、定期的な情報配信やフォロー架電などの顧客サービスを強化し、安定した収益基盤の維持・拡大に努めてまいります。

インドネシアでボトルドウォーター事業を展開するPT. SUPER WAHANA TEHNOの売上高が2,100百万円（前年同期比37.2%増）となりました。マーケットシェア拡大のためのTVCMやSNS広告、プロモーション活動の強化が奏功し、本年5月には月間売上高過去最高を更新するなど、順調に伸長しております。当期は次期以降の飛躍を見据え、前期以上にマーケティング施策を強化する計画のため費用は先行しますが、同社製品「Pristine」の認知度は確実に高まっており、売上規模は着実に拡大しております。販売数量増加に対応すべく新たな自社工場建設についても協議を進めており、生産能力の増強とともに経営効率向上も目指してまいります。

以上の結果、ウォーターヘルスケア事業の売上高は10,866百万円(前年同期比9.3%増)、セグメント利益は1,455百万円(同11.3%減)となりました。セグメント利益の減益は、上述した人的投資拡大やインドネシアのボトルドウォーター事業における広告費用増によるものです。

[医療関連事業]

電解水透析(*2)事業では、本年6月に続き、7月、9月に2施設(多人数用1施設、個人用1施設)の新規導入があり、電解水透析導入施設は現在37施設、1,127床となりました。約3,400名の方が電解水透析治療を受けられています。毎年開催される「日本透析医学会学術集会・総会」においての注目度は高まっており、本総会を通じて電解水透析に関心を持たれた施設との商談が進んでおります。今後も透析関連学会への出展やセミナー実施などを通じて電解水透析の普及に邁進してまいります。

(*2)電解水透析とは、透析治療で使われる透析液の希釈水を、当社の技術による電解RO水にすることで、透析液に水素を溶存させた次世代新規治療法。世界で初めて溶媒である水の機能に着目した従来にない技術です。通常透析と比べ、投薬量減少や、透析患者の合併症併発率や粗死亡率が低いというデータを取得しており、注目を集めております。

再生医療関連事業では、ステムセル研究所(東証グロース、証券コード:7096、当社持分71.2%)の売上高が中間期過去最高を更新しました。同社は2026年3月期第2四半期(中間期)決算発表を当社と同じく11月12日に実施しておりますので、詳細は同社決算短信をご参照ください。

以上の結果、医療関連事業の売上高は1,539百万円(前年同期比8.5%増)、セグメント利益は107百万円(同49.9%減)となりました。セグメント利益の減益は、ステムセル研究所における人的投資の拡大や営業体制の再構築、シンガポールでの事業立ち上げに関する費用発生によるものです。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産は34,926百万円となり、前連結会計年度末に比べ427百万円減少(前期比1.2%減)いたしました。主な要因は、投資有価証券が1,086百万円、受取手形及び売掛金が634百万円増加した一方、現金及び預金が1,645百万円、有価証券が501百万円減少したことによるものであります。

負債は10,205百万円となり、前連結会計年度末に比べ397百万円増加(同4.1%増)いたしました。主な要因は、前受金が220百万円、未払法人税等が67百万円増加したことによるものであります。

純資産は24,720百万円となり、前連結会計年度末に比べ825百万円減少(同3.2%減)いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益1,106百万円の計上がありましたが、配当金1,077百万円の支払い及び自己株式658百万円の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の業績予想につきましては、2025年5月13日「2025年3月期決算短信」にて公表しております通期業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,394,490	13,748,586
受取手形及び売掛金	6,343,591	6,978,449
有価証券	1,001,865	500,141
製品	627,719	552,876
原材料及び貯蔵品	1,104,771	1,047,219
その他	304,347	286,834
貸倒引当金	△26,437	△26,076
流動資産合計	24,750,348	23,088,031
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,983,117	2,979,206
その他(純額)	2,004,225	1,985,740
有形固定資産合計	4,987,342	4,964,946
無形固定資産		
のれん	311,791	293,231
その他	318,356	331,769
無形固定資産合計	630,147	625,000
投資その他の資産		
投資有価証券	1,306,584	2,392,951
長期預金	1,500,000	1,500,000
その他	2,228,856	2,404,799
貸倒引当金	△49,500	△49,500
投資その他の資産合計	4,985,940	6,248,250
固定資産合計	10,603,431	11,838,197
資産合計	35,353,779	34,926,229
負債の部		
流動負債		
買掛金	589,774	639,507
未払法人税等	532,132	599,582
前受金	4,072,488	4,293,289
賞与引当金	200,425	200,110
製品保証引当金	85,000	94,000
その他	1,675,210	1,630,142
流動負債合計	7,155,031	7,456,632
固定負債		
長期借入金	1,131,089	1,069,065
株式報酬引当金	177,454	224,145
役員退職慰労引当金	260,406	280,120
退職給付に係る負債	367,842	384,596
その他	715,786	790,962
固定負債合計	2,652,578	2,748,891
負債合計	9,807,610	10,205,523

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,597	992,597
資本剰余金	1,864,182	1,807,969
利益剰余金	24,391,935	24,421,538
自己株式	△3,408,285	△4,066,723
株主資本合計	23,840,429	23,155,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,881	△11,639
為替換算調整勘定	108,612	27,243
退職給付に係る調整累計額	33,004	26,689
その他の包括利益累計額合計	126,735	42,293
非支配株主持分	1,579,004	1,523,031
純資産合計	25,546,169	24,720,706
負債純資産合計	35,353,779	34,926,229

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	11,361,310	12,406,169
売上原価	3,383,217	3,922,080
売上総利益	7,978,092	8,484,089
販売費及び一般管理費	6,121,576	6,920,886
営業利益	1,856,516	1,563,202
営業外収益		
受取利息及び配当金	25,932	51,770
持分法による投資利益	12,303	8,925
不動産賃貸料	42,008	42,008
為替差益	—	623
保険解約返戻金	725	—
固定資産売却益	18,043	16,579
その他	5,413	12,023
営業外収益合計	104,425	131,930
営業外費用		
支払利息	787	2,660
為替差損	428	—
貸与資産減価償却費	7,441	6,970
貸倒引当金繰入額	300	—
自己株式取得費用	—	5,660
その他	2,082	3,750
営業外費用合計	11,039	19,041
経常利益	1,949,901	1,676,091
特別利益		
固定資産売却益	—	487
投資有価証券売却益	149,274	—
特別利益合計	149,274	487
特別損失		
固定資産除却損	—	1,540
特別損失合計	—	1,540
税金等調整前中間純利益	2,099,176	1,675,039
法人税、住民税及び事業税	667,663	577,893
法人税等調整額	△19,664	△65,181
法人税等合計	647,998	512,712
中間純利益	1,451,177	1,162,327
非支配株主に帰属する中間純利益	145,051	55,346
親会社株主に帰属する中間純利益	1,306,125	1,106,981

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,451,177	1,162,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101,544	4,153
為替換算調整勘定	118,870	△143,421
退職給付に係る調整額	1,117	△7,164
持分法適用会社に対する持分相当額	1,009	466
その他の包括利益合計	19,452	△145,966
中間包括利益	1,470,630	1,016,361
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,310,834	1,022,223
非支配株主に係る中間包括利益	159,796	△5,861

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,099,176	1,675,039
減価償却費	224,828	231,190
のれん償却額	18,559	18,559
貸倒引当金の増減額(△は減少)	723	△140
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,017	△314
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	44,744	46,690
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,765	11,451
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△30,141	19,714
受取利息及び受取配当金	△25,932	△51,770
支払利息	787	2,660
持分法による投資損益(△は益)	△12,303	△8,925
投資有価証券売却損益(△は益)	△149,274	—
売上債権の増減額(△は増加)	△484,728	△663,208
棚卸資産の増減額(△は増加)	△12,704	117,814
仕入債務の増減額(△は減少)	17,404	69,912
前受金の増減額(△は減少)	193,691	221,046
未払消費税等の増減額(△は減少)	△74,023	38,426
その他	15,032	125,746
小計	1,849,623	1,853,893
利息及び配当金の受取額	30,622	53,243
利息の支払額	△787	△2,660
法人税等の支払額	△703,950	△493,770
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,175,508	1,410,706
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	500,000	—
有価証券の償還による収入	1,000,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△171,341	△298,458
有形固定資産の売却による収入	18,045	21,347
無形固定資産の取得による支出	△34,513	△79,167
関係会社株式の取得による支出	—	△374,161
投資有価証券の取得による支出	△400,000	△700,000
投資有価証券の売却による収入	203,024	—
保険積立金の積立による支出	△14,822	△105,061
その他	23,500	37,585
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,123,893	△997,915
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△62,264
自己株式の取得による支出	△349	△695,018
自己株式の処分による収入	—	43,544
配当金の支払額	△687,204	△1,072,892
子会社の自己株式の取得による支出	—	△106,008
その他	△15,075	△10,659
財務活動によるキャッシュ・フロー	△702,630	△1,903,298
現金及び現金同等物に係る換算差額	102,779	△155,396
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,699,550	△1,645,904
現金及び現金同等物の期首残高	13,959,093	15,394,490
現金及び現金同等物の中間期末残高	15,658,644	13,748,586

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ウォーターヘルスケア事業」、「医療関連事業」の2つの事業セグメントを報告セグメントとしております。

「ウォーターヘルスケア事業」は、整水器販売事業及びそれに付随する業務を行っております。「医療関連事業」は、医療・予防医療分野や再生医療分野における事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	ウォーター ヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,943,038	1,418,271	11,361,310	—	11,361,310
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,943,038	1,418,271	11,361,310	—	11,361,310
セグメント利益	1,641,734	214,781	1,856,516	—	1,856,516

(注) セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	ウォーター ヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,866,695	1,539,474	12,406,169	—	12,406,169
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,866,695	1,539,474	12,406,169	—	12,406,169
セグメント利益	1,455,573	107,629	1,563,202	—	1,563,202

(注) セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。